

第1回 つなぎ 発掘 元気 ED

津奈木町モルック協会

子どもから高齢者まで一緒になって楽しみ、競技の中で足し算、引き算をしながら競うため頭と体を使って健康づくりにも効果的なスポーツとして町おこしの可能性を感じ、令和5年4月に協会を設立しました。

日本でもまだ普及し始めたばかりのニュースポーツ「モルック」を町に普及させることで町民同士の交流と地域活性化の一助となればと思っています。

本協会ではこれまで、小中学校でニュースポーツとしてモルックを教えたり、昨年のおふれあい祭



第1回つなぎモルック大会

りでは300人近くが集まる大規模な大会を県のモルック団体と協力して開催しました。今後は、小規模な大会や各種イベントで体験コーナーを増やすなど、普及活動に



会長 山口 哲平さん

力を入れ、町での競技人口を増やして行ければと考えています。

当面の目標は町民体育祭の競技の一つとして開催することです。

モルックにハマった方や興味がある方は、ぜひ津奈木町モルック協会に加入ください！

～モルックとは～

フィンランド発祥のニュースポーツで「モルック」という棒を投げ、「スキットル」という12本のピンを対戦相手と交互に倒して先に50点ピタリにした方が勝利するという競技です。

～議会にひとこと～

議員の皆様にも協会が企画する大会にご参加いただき、モルックを楽しんでいただければ嬉しいです！

議会広報編集特別委員会

委員長	委員長	委員	委員
新立 啓介	大川 貴哉	宮嶋 弘行	平野 和信
林田 廣美	林田 廣美	林田 廣美	林田 廣美

新型コロナウイルス感染症に関しても、感染拡大の傾向にあります。手洗い、うがい、場所によってはマスクの着用を行い、感染予防を心がけ、お体に気を付けてお過ごしください。
(林田 廣美)

編集後記

津奈木町の伝統ある盆野球大会、競舟大会が、各地区での参加が難しくなっているなかで合同チームを作るなど、工夫を凝らして開催されます。町民や盆帰省の方など、多くの方々が楽しんで、汗を流せることを期待しています。
暑い日が続いていますので、熱中症などには、くれぐれも注意されますように。



緑と彫刻のあるまち

No.130

2023



TSUNAGI

つなぎ議会だより

8 AUGUST

まちの
未来へ
ジャンプ



- 令和5年度補正予算
- 常任委員会活動報告
- 一般質問4人が登壇

津奈木町水泳教室



津奈木町議会
ホームページ

つなぎ議会だより

2023. 8

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報編集特別委員会

〒869-5692 熊本県津奈木町小津奈木2123
☎0966-785351

印刷：旭印刷株式会社

6月
定例会の
あらまし

令和5年第2回津奈木町議会定例会が6月14日、15日の2日間の日程で開催されました。

本定例会では、令和5年度一般会計補正予算並びに津奈木町障がい者計画等策定委員会設置条例の制定など、18議案（予算5、条例5、同意7、その他1）が提出され、全て原案のとおり可決・同意されました。

令和5年度一般会計補正予算（第3号）

歳入・歳出 1億7,290万円追加

総額39億8,940万円

- 歳出
主なもの
- 低所得者世帯支援給付事業費 2,641万8千円
住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を給付
 - 移住定住促進対策事業 444万2千円
お試し住宅（さくら団地内）2棟4戸の改修及び備品購入等
 - L P ガス使用世帯支援事業補助金 952万6千円
L P ガス使用の世帯に対し、6千円を補助
 - 小規模事業者総合支援補助金 490万円
小規模事業者に対し、販路開拓、店舗整備、専門家派遣、D X 推進等を支援
 - 町道宇戸永田線道路改良工事 4,900万円
旧平国小学校への連絡道路である本路線を幅員5mで整備
 - 津奈木小学校体育館屋根等大規模改修工事（追加） 306万1千円
体育館床面の劣化再塗装479㎡を追加
 - B & G プール改修工事 2,788万2千円
プールの外壁改修、プール缶体の塗装、上屋の一部新設、シャワーの温水化
 - 学校給食費補助金 805万1千円
学校給食費の無償化。4月分から全額補助
 - 療養介護医療費 720万円
生活保護受給者の療養介護利用を助成
 - 津奈木工業団地内支障木伐採業務委託料 950万円
津奈木大橋から男島桶門区間の支障木を伐採 L = 721m、W = 10m

補正予算
の概要

令和5年度一般会計補正予算（第3号）は歳入歳出それぞれ1億7,290万円を追加し、総額39億8,940万円とするものです。

採決の結果、全会一致で原案どおり可決しました。

- 歳入
主なもの
- 物価高騰対応生活者支援交付金 901万6千円
生活者支援425万4千円、L P ガス支援476万2千円
 - 町道宇戸永田線道路改良事業債 5,010万円
工事費、土地購入費、建物補償費等
 - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,760万6千円
低所得者支援1,706万3千円、推奨事業3,054万3千円

6月定例会の審議結果		
事件の番号	事 件 名	審議の結果
議案第28号	令和5年度津奈木町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第29号	令和5年度津奈木町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第30号	令和5年度津奈木町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第31号	令和5年度津奈木町恒久対策事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第32号	令和5年度津奈木町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第33号	津奈木町障がい者計画等策定委員会設置条例の制定について	原案可決
議案第34号	津奈木町報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決
議案第35号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第36号	津奈木町出生祝金支給条例の一部改正について	原案可決
議案第37号	津奈木町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
同意第4号	津奈木町教育委員会委員の任命の同意について	同 意
同意第5号	津奈木町農業委員会委員の任命の同意について	同 意
同意第6号	津奈木町農業委員会委員の任命の同意について	同 意
同意第7号	津奈木町農業委員会委員の任命の同意について	同 意
同意第8号	津奈木町農業委員会委員の任命の同意について	同 意
同意第9号	津奈木町農業委員会委員の任命の同意について	同 意
同意第10号	津奈木町農業委員会委員の任命の同意について	同 意
報告第4号	専決処分事項の報告について	—

6 月 補 正 予 算 審 議

【 歳 入 】

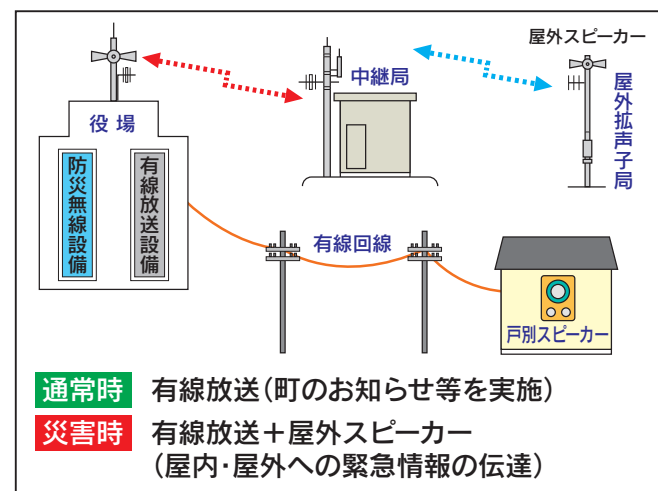
問 国庫補助金で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4,760万円の内容と目的は。

答 物価高騰による低所得枠が1,706万円と推奨事業枠が3,054万円となる。

低所得者に対し、一律1世帯当たり3万円を給付し、推奨事業は、給食費への補助、農機具機械購入の補助、燃料高騰による漁業者への補助、小規模事業者支援補助、L P ガス世帯への一律1世帯6千円の補助等を実施する。

問 町債に防災行政無線整備事業債1億9,030万円が計上されている。防災行政無線を整備するにあたり、どのような対応を行うのか。

答 防災行政無線は、実施設計の完了後、どういった形で運用を行っていくのか、区長や住民などに対し説明を行いたい。



【 歳 出 】

問 低所得者世帯支援給付金2,400万円の内容は。

答 国の新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付する。

問 元気づくり補助金に100万円の補正予算が計上されている。当初予算と合わせ200万円となるが、現在決定しているものがあるのか。

答 地域の元気づくりを目指した持続効果のある事業に対し、経費を補助している。本年度は、モルック協会設立記念大会に56万円の補助を決定している。今後は、夏祭りのボリュームアップやイルミネーション事業、旧平国小を活用したマルシェ等の事業を予定している。

問 お試し住宅改修工事はどのような内容か。また、入居者の対応は、どのように考えているのか。

答 令和2年7月豪雨の際、応急仮設住宅として整備された男島仮設団地の2棟4戸をお試し住宅として運用をする。主な内容は、カーテンの間仕切りをドアや壁に改修する。入居募集は、改修終了後、町ホームページ等で実施する。



問 小規模事業者総合支援補助金490万円の内容は。

答 原油高騰等を受け、経営に支障を来している小規模事業者等に対し、新しい生活様式に対応した総合的な支援を行う。メニューとしては、事業継続のための販路開拓、店舗整備、専門家の派遣要請、D X への取組支援等である。

問 津奈木工業団地内支障木伐採業務委託料950万円が計上されている。委託料が高額であるが、伐採の場所は。また、工業団地内に新たな企業誘致等の計画があるのか。

答 場所は、津奈木大橋からB & G艇庫前の男島北樋門までの区間になる。同工業団地周辺は、雑木が茂り、調整池に土砂が流入している状況であり、進出企業受け入れに即時対応できない状況にあるため、雑木を伐採し、調整池の土砂のしゅん濇等を行う。進出企業については、問い合わせや県を通じて照会等がある。町としては、企業誘致に向け力を入れていきたい。



問 町道宇戸永田線道路改良工事は、当初予算から測量設計業務委託料759万4千円を減額し、工事請負費4,900万円が追加計上されているがどのような経緯があったのか。

答 令和4年度から単独事業で進めていたが、一般財源を少なくするため、5年度から国の交付金事業に変更し実施予定であったが、交付金の確保が困難となったため、当初計画で進めることとなった。事業内容や財源確保は、県や関係各課との情報共有や連携が充分とれていなかったため、このような予算調整を行う結果となった。今後は、情報共有や連携を充分に図りながら事業に取り組んでいきたい。

問 関係各課の連携がうまくいっていなかったことで、このような事態になっている。有利な補助を活用するために行ったとのことであるが、当初に組んで、また落とし、町原線の件も同じであるが、地権者や住民、そして議会が審議をするにあ

たって、信頼関係をそこなうものである。今後、このようなことがないように、町長として、どのように考えているのか。

答 関係各課が、町に対して有利な方法がないか、検討している。その結果、当初計画よりも有利ではないかとの判断で変更したが、これからは、住民に対し十分に説明ができるように対応していきたい。

問 残土処理場管理業務委託料448万8千円の内容は。

答 津奈木川単県河川掘削工事及び大坪川砂防激甚災害対策特別緊急工事により、現場から排出される建設発生土5,610m³の残土処理場への持ち込み申請があったため、追加計上した。

問 B & G プール改修工事2,530万円の工事内容は。

答 4月3日にB & G財団からのプール改修助成金1,420万円の助成を受け実施する。プールの外壁改修、プール缶体の塗装、上屋の一部新設、シャワーの温水化を行う。



問 学校給食費補助金805万1千円は、これまで一部補助がなされていたが、今年度全額補助となる。物価高騰等の交付金を活用した事業と認識しているが、滞納者及び未納世帯はないのか。

答 令和4年度までの滞納者はいない。また、本年度納付いただいた4月分及び5月分は、全額返金予定である。

津奈木町農業の担い手と意見交換

総務振興常任委員会では、所管する課題に対し、町内で活動する各団体との意見交換を実施し、解決のための調査研究を行なっている。

第3回目となる今回は、6月28日(水)ＪＡあしきた津奈木青壮年部との意見交換を実施した。



ＪＡ青壮年部は、部員数は10人で、農業を通じて、小中学校とのサラダ玉ねぎ栽培や寒漬け大根の栽培加工などの体験学習を行っている。

また、夏祭り、ふれあい祭りなど地域貢献活動にも積極的に参加。近年では鳥獣被害化や耕作放棄地対策など農業をとりまく諸問題の解決に向け協力し活動を行っている。

一方で最近の生産資材の高騰や、販売価格の低迷に加え、本町は他地域と比べ急傾斜が多い中山間地域であるため優良な農地の栽培面積の確保が厳しく、本町を取り巻く経営環境は厳しさを増す一方である。

当委員会では、若手農業経営者の諸問題を共有することで、今後の津奈木町農業の継続・発展に寄与し、所得の向上につなげるよう政策に取り組む。

農業の現状は

青壮年部 柑橘栽培農家は、部員10人のうち、8人しかいないことがプレッシャーになっている。

品質向上のため、施設栽培の面積を増やしたいが、ハウス資材など農業資材は2倍近く高騰している。ハウス事業は3軒が集まるなどの条件があり、新規に整備するのは難しい状況にある。このような状況にあるので、対応をお願いしたい。

委員 ハウス資材等補助は、鉄パイプ等には補助がある。ビニール等の資材は2年前に比べ1.

3倍以上高騰しているなど、農業経営のご苦労は把握している。町当局に伝え、必要な補助を要望していきたい。

青壮年部 町の鳥獣被害対策である電気柵設置補助事業の対象は、町内園地である。町外（水俣市）で果樹栽培をしているが被害が大きいため、申請したいが対象外である。町外園地でも、使えるようにできないか。

委員 津奈木町は町内園地が対象で補助額は資材費の2分の1が上限。管内の状況を調査し、要望を行う。

青壮年部 町中、染竹など、町内7カ所に灌水設備が整備されているが、電気代が高騰し、利用者負担が増え、農業経営を圧迫しているため、町の助成はできないか。

委員 昨年的一般質問において要望を行っている。町の予算編成時期までに要望等を出す必要がある。電気柵も含めて要望がある場合は、要望事項をまとめ提出してもらいたい。

委員会としても、対策を検討する。

持続可能な農業政策を

農業の将来展望は

委員 今後の農業をどのようにしたいか。

青壮年部 規模を増やす考えはない。高く買ってもらえるよう品質を良くしたい。普段の管理は問題ないが、収穫等の作業に人手がいるが確保が困難である。

直販に対しての送料無料キャンペーンなどの取り組みがあればありがたい。

委員 ＪＡ青壮年部として、不知火やサラ玉の販路拡大としての補助の相談はできる。



青壮年部 サラダ玉ねぎを「津奈木産」の特産品として販売し、農家の所得向上を図りたい。サラたま専用イベントを4月頃に開催できないか。

委員 場所の提案はできる。元気づくり補助金等を活用し、生産者で企画・販売するようにしてはどうか。

委員 樹園地の集積や基盤整備をやりたいと思っている人が何人くらいいるのか。

青壮年部 農地集積や規模拡大はしようと思っても、個人経営であるため、一緒にやろうということは難しい。

委員 平国地区の田んぼは、後継者がおらず耕作放棄地になるのではないかと。ここを集団園地に改良して農業経営をしたいと考える人はいないか。

青壮年部 優良園地に切り替えたいと思っている者は数名いる。

青壮年部 稲作を受任していた方が高齢等により辞退したことで、青壮年部メンバーに依頼が10ha程度増えている。

委員 耕作放棄地に一度なると復活することは難しくなるので、中山間地域直接支払い事業の集落協定による生産活動の継続が必要である。今後は、集落協定の維持も厳しくなると考えるので早期の検討が必要。

まとめ

○当委員会にて、集約意見を以下のとおり取りまとめ、引き続き協議・検討を行う。

- ①ハウス資材等の高騰への対応
- ②町外園地に対する電柵補助の対応
- ③サラたまの販売方法の検討
- ④灌水施設に対する電気代の助成
- ⑤人手不足と販売価格を上げるための対応
- ⑥稲作受任者の減に伴う耕作放棄地対策
- ⑦ドローンを活用した実証実験（農業省力化）

○当委員会として、農業従事者等の生の声を聞き、農業振興に対し積極的に関与していきたい。

訪問介護ステーションH & Kに聞く

6月22日(木)、水俣芦北広域行政事務組合から、初めて患者等搬送事業者認定を受け津奈木町で民間救急サービスを開始した訪問介護ステーションH & Kと教育住民常任委員会との意見交換を行った。



山内智世さん

代表 前田穂住さん

【民間救急車とは】

国土交通省の免許と水俣芦北広域行政事務組合消防本部の認定を受けた患者等搬送事業者の有料自動車である。

「患者等搬送乗務員適任証」取得者2名が乗車し消防局が指定する資機材に加えて、医療搬送で必要となる。

医療機器を追加で搭載しており、医師や看護師による医療管理を受けながらの搬送が可能。緊急自動車ではないため、サイレンを鳴らしての緊急走行はできない。付き添いの方も5名まで乗車ができる。

【救急サービスの特色】

経験豊富な看護師、介護福祉士が在職しており、あらゆる要望や相談に対応可能。

万全の搬送を行うため、必要な医療資機材を搭載した高規格車を使用して、状況に合わせた丁寧な搬送ができる。

津奈木町での発着であれば、全国各地どこへでも搬送ができる。



水俣芦北地域に初の民間救急サービス

【質疑応答】

問 民間救急サービスを立ち上げたきっかけは。

答 緊急出動のサポートを行うことを目的に始めたが、運用できるようになるまでに9年間程度を費やした。

問 緊急要請があった場合、どのような対応をしているのか。

答 車両の運転は2種免許を取得している職員が対応する。また、救急要請には、看護師が、患者の容態を診ながら対応している。



問 介護タクシーと民間救急車との違いは。

答 介護タクシーは介護の必要な足の悪い方や車いすの方が利用でき、民間救急車は寝たきりの方などの要介護者の搬送ができる。

問 消防本部から要請はあるのか。

答 緊急を要しない患者の搬送に、民間救急として依頼されることがある。

問 民間救急車の受付時間は。

答 午前8時から午後6時まで対応している。職員の勤務時間の関係で、24時間体制ではない。

問 この民間救急サービスは、珍しい事業だが、他では行っていないのか。

答 水俣芦北地区、八代地域を含んでも、民間救急業務を行っているのは、H & Kのみである。

問 利用料金は、どのように決めているのか。

答 利用料金は、国土交通省で認可された統一料金になる。

問 議会や住民の皆様に対して、要望することは。

答 民間救急サービスを理解してもらい、津奈木町に民間救急サービスがあることを広く住民の皆様知ってもらいたい。



〈教育住民常任委員会〉

委員長	宮嶋 弘 行
副委員長	大川 貴 哉
委員	久村 昌 司
委員	澤井 静 代
委員	平野 和 信



空き家バンクの情報提供と取り組みは

宮嶋 弘行 議員

空き家バンクの現状は

問 空き家バンクへの登録件数とリフォーム補助金の利用実績は。

答 【政策企画課長】 現在の空き家の登録件数は41件で、ホームページに掲載しているのが7件である。

リフォーム補助金の利用実績は、令和3年度が8件で、令和4年度が4件である。

問 空き家バンクの情報発信に関して、より多くの方へわかりやすく簡単に情報開示が出来るのか。

答 【政策企画課長】 町のホームページで「つながぐらし」という移住定住専用サイトで情報提供を行っている。また、空き家バンク登録促進のために、広報誌や納税通知にチラシを同封して、登録を促している。

熊本県でも市町村の物件情報を集約し、今年4月1日から「空き家バンクプラットフォーム」を構築し、ワンストップ検索ができ、絵文字や360度カメラによるバーチャルの内覧ができるシステムになっているため、わかりやすい情報開示を行なっている。

サイクルツーリズムでの新たな環境整備を

問 水俣・芦北地域サイクルツーリズム推進協議会が、令和5年度から整備を行っていく計画だが内容は。また、ルートの予定と地域活性化をどのように行うのか。

答 【政策企画課長・建設課長】 熊本県県南広域本部が事務局となり、地域の豊かな自然や歴史、観光施設などの資源を生かし、地域促進を促す計画である。

ハード面に関しては、自転車通行空間整備と安全

対策を行う。自転車がスムーズに通行できるように、矢羽根型路面標示の設置、路肩部分の防草対策をし、令和5年度から国の補助金を活用し、干拓堤防線ほか路肩部分2.68キロメートルの空間整備を計画している。

ルートは令和4年度に「サイクリングマップ」も製作され、八代及び水俣芦北地域の4つのルートが設定済である。津奈木町は、海沿いの観光スポットを巡る八代～水俣シーサイドルートになる。活性化については、キャンペーンや・情報発信など協議会と連携して取り組んで行きたい。

定住促進住宅への計画は

問 上原団地解体工事が予定されている。解体後、応急仮設住宅の移設を計画しているが、内容は。また、入居による条件と家賃設定はどのように検討しているのか。

答 【建設課長】 老朽化のために解体するが、定住促進を目的に、球磨川流域復興基金交付金を活用し、令和5年度に基本実施設計を行い、令和6年度に応急仮設住宅の3棟6戸を移築し、定住促進住宅として建設する。

入居に関しては、津奈木町定住促進住宅管理条例で同居する親族や同居人がいないと同居できないことになっている。但し、今回の仮設住宅に関しては、間取り等も少し狭い事も考慮し、単身者の入居が出来ないのかを、他の市町村の情報等を集め入居条件の検討を行いたい。家賃に関しては、建設工事費と立地条件等を基に、松岡団地の家賃を参考に検討したい。

人材育成基金を活用し町の発展に必要な人材育成を

新立 啓介 議員



人材育成計画はあるのか

問 町の発展には人材が欠かせないと考えている。県内でも、まちづくり人材の発掘・育成等に取り組んでいる自治体がある。本年度策定の第10期津奈木町振興計画の中に各種分野での人材育成計画等あるのか。

答 【政策企画課長】 これまでの振興計画でも、それぞれの分野ごとに目標や戦略を達成するために必要な人材や組織の育成強化支援策などを組み込みながら、人材育成の視点を持って作成してきたので、次期計画でも同様に取り組みたい。

問 町長の施政方針に、つなぎオイスターバルへの安定供給を図るため、マガキ養殖の生産体制が急務で支援策に今後も取り組むとある。農業分野では次世代を担う者に対して、農業経営開始資金制度がある。漁業分野には制度がないので、町独自の制度設計で支援する考えはないのか。

答 【町長】 参考にこれから検討させていただきたい。

福浜漁港単独用地の利活用計画はないのか

問 漁港単独用地内は、現在、盛土してあり地区住民が利用できる状況にない。日常的に地区住民が利用できるよう更地に整備する計画はないのか。

答 【建設課長】 令和2年7月豪雨の土砂を仮置きしている。草払いなど日常管理にも支障をきたしているため、土捨て場に運び平地にしたいと

考えているが今後検討したい。

問 福浜漁港単独用地は、現在未利用となっている。土地利用計画では、漁民住宅として整備されてきたと思うが、宅地分譲とか公営（定住）住宅を建設する計画はないのか。

答 【建設課長】 令和2年7月に多目的に活用できるように白地に用途変更し、第1分団の格納庫が建設されましたが、宅地分譲や公営（定住）住宅建設は台風や高潮等の影響があるので、現段階での計画はない。



問 旧赤崎小学校の「入魂の宿」も一般向け宿泊が開始されるが、将来的には漁港内に公営住宅等を建設し、赤崎団地を一般向け宿泊施設に改修して「入魂の宿」と併せて赤崎地区の魅力アップができないか町長の考えは如何か。

答 【町長】 今は考えていないが、将来的には参考にさせていただきたい。



給食費無償化は 来年以降も続くのか

大川 貴哉 議員

こども家庭庁設置で子育てはどう変わる

問 国において、子どもが真ん中の社会の実現を目指し、こども家庭庁が設置された。これに関連して、取組や課題、対策について伺う。

答 【ほけん福祉課長】 こども家庭庁の設置に伴う新たな施策等は現在のところ示されていないが、今後取り組むべき施策が示されると思われる。

町の取組としては、出生祝い金、保育料軽減、新生児覚醒検査の助成、保健師などによる育児相談の実施や児童相談については、本年度から専門員1名を配置し支援に取り組んでいる。

課題としては、出生数が減少していることや保健師などの有資格の専門員の不足などがある。

今後、国や県の動向を見ながら、取り組みを行い、子育て支援を推し進め、出生数の向上に努めてまいりたい。

問 対応できる部署や専門職の配置は、考えていないのか。

答 【ほけん福祉課長】 対応は、ほけん福祉課が行う。専門員は、子育て世代包括支援センターとこども家庭総合支援拠点を併設し、児童福祉担当が保健師などと併せて活動している。本年度より子ども家庭支援員1名を配置して対応しているが、今後はこども家庭センターの設置を見込んでいるため、支援員を増やすなどの対応が必要になってくる。

学校の運動場は安全か

問 全国的に運動場で釘等の金属片が処理されていない状況だ。本年4月に地面から飛び出た

釘で小学生が怪我をし、問題となった。本町の運動場においては、調査や処理等の対策は行っているのか。

答 【教育長】 このような事故が発生した場合、国や県から注意喚起や指導の通知が出される。同様に、国から文書が発出されたことから、教育長名で町内小中学校へ点検のための通知を発出した。

学校は安全・安心な場所でなければならない。そのために、学校から施設・設備について要望を聞いたり、設備の現況を視察したり、業者に点検をお願いして、事故の発生防止に努めている。

来年度の給食費無償化について

問 今回、学校給食費の無償化のため、補正予算に学校給食費補助金が計上された。子育て世帯には負担軽減になり、こういった政策は続けていくべきだが、次年度以降も無償化を検討できないか。

答 【教育課長】 本年度の給食費は1,429万9,000円を助成している。内訳は、小学校が876万9,450円で、中学校が552万9,000円である。令和10年度の試算は、1,284万7,800円となる見込みで、今後5年間は、1,350万円前後で推移すると思われる。

答 【町長】 全国的に無償化が取り組まれているなかで、子育て支援対策として、国や県の動向を見ながら前向きに検討していきたい。

機械購入等補助金の継続を

本山 真吾 議員

第一次産業従事者の所得向上について

問 昨年から、燃料を始めとする物価の高騰により、飼料、あるいは農業資材、農薬等が大幅に値上がりしている。人件費の高騰も相まって、生産者の負担は増え続け、経営を圧迫している状況である。一方で、農産物の販売は低迷し、果樹生産は不作であった。現在、新型コロナ対応で機械購入補助金等を設けているが、補助額を更に広げ、補助率の見直しを行うことで、所得の向上ができるようにできないか。

答 【農林水産課長】 農業を取り巻く状況は、コロナや世界情勢の不安定の中、燃料や生産資材等の高騰により、農業経営に支障をきたしているため、本町においては、農業機械購入への助成や農道等への原材料支給等の支援を行っている。大変厳しい状況であると認識しているが、現時点では補助対象や補助率についての見直しは考えていない。農家所得の維持は、以前から収入保険制度等への加入促進を推進している。

答 【町長】 予算の範囲内ではあるが、できることを行い、今までできなかったことも行っている。今後も周りの市町村等を確認しながら行っていきたい。

問 第一次産業の振興については、財源との兼ね合いもあるが、国や県の補助政策によって、政策の自由度が損なわれている。農林水産業の振興に特化した基金を設けるべきではないか。

答 【農林水産課長】 基金については、昨年9月の定例会で津奈木町ふるさと応援基金を設置

している。農林水産業の振興事業等について適用が可能となっているため、現時点としては新たな基金の設置は考えてない。

問 コロナの対策事業として設けられた農業機械等補助金は、今後も継続して続けられるのか。

答 【町長】 いろいろまだ検討しなければならない事項があるので、継続については検討していきたい。

展望所の観光資源はできないか

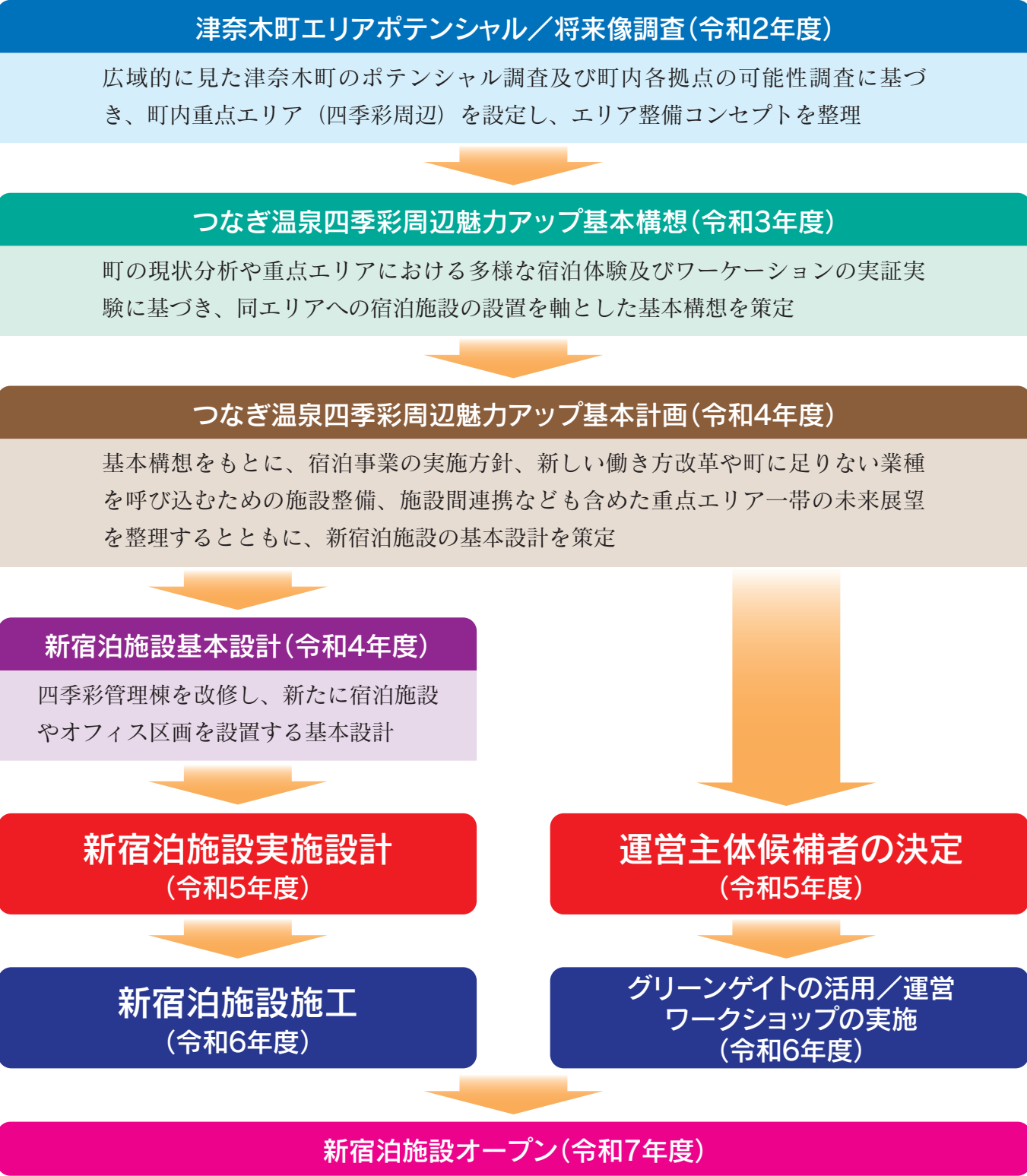
問 赤崎展望所等、広域農道には眺めの良いところが多くあるが、今後デッキ化など整備を進めて観光資源として活用を進める考えはないか。

答 【政策企画課長】 赤崎展望所の整備は、広域農道の整備に伴い、県が看板等の設置をしている。現在、看板については、見にくくなっているため、県に改修をお願いしている。町が、広域農道にデッキ等の整備を行い観光資源とする計画は、現時点ではない。



「つなぎ温泉四季彩」の新宿泊施設について 方針と計画を伺う

6月9日(金)議会全員協議会において、政策企画課より説明を受け、議会より質疑書37項目を提出した。6月29日(木)質疑に対する回答と詳細についての意見交換を行った。
今後は、実施設計の中で、具体性に欠けるものについては、詰めていただくこととし、町民への説明責任をしっかりと果たしていただくように要望した。



議会のうごき

【6月】

- 7日 議会運営委員会
- 9日 定例会前の議員勉強会
- 14～15日 第2回定例会
- 15日 議会全員協議会、議会広報編集特別委員会
- 22日 教育住民常任委員会
- 28日 総務振興常任委員会
- 29日 議会全員協議会、議会広報編集特別委員会
- 30日 南九州西回り自動車道早期実現期成会 通常役員総会



【7月】

- 10日、14日、18日、20日、24日 議会広報編集特別委員会
- 3日 南九州西回り自動車道建設促進期成会役員会
- 4日 南九州西回り自動車道早期実現期成会 前期要望活動
- 7日 水俣芦北広域行政事務組合議会臨時会
- 10日 水俣芦北地域振興計画推進委員会との意見交換会
- 19日 総務振興常任委員会
- 20日 教育住民常任委員会
- 26日 県議長会常任委員長・議運委員長研修会
- 27～28日 水俣芦北地域振興計画 前期要望活動



【8月予定】

- 8日 県議長会理事会
- 中旬 総務振興常任委員会、教育住民常任委員会
- 22日 県議長会正副議長研修会
- 25日 県議長会新議員研修会



【9月予定】

- 上旬 議会運営委員会、定例会前の議員勉強会
- 中旬 第3回議会定例会

議会を傍聴してみませんか

町政を知るために、ぜひ議会を傍聴してください。
手続きは簡単で、役場3階の傍聴席入口の受付簿に記入していただくだけです。

○問い合わせ 議会事務局 0966-78-5351

第2回定例会
の傍聴者は、
7人でした。